

《安曇野市》 安曇野市社会福祉協議会ボランティアセンター三郷支所

〔センターの基本事項〕

所在地	〒399-8101 安曇野市三郷明盛2198-1			
電話 F A X	0263-77-8080	0263-77-8081		
電子メール	misato@azuminoshakyo.or.jp			
H P アドレス	http://azuminoshakyo.jp/			
職員数	正規	1名	嘱託	—
	臨時	—	その他	—
開所日と時間	平日 8:30～17:30 土日祝は除く			
情報誌	—			
来所者数	—			

〔センターの運営方針・指針等〕

--	--

〔センターの拠点整備〕

活動場所の提供	<input type="radio"/>	ボランティア等福祉の活動に携わる者であれば無料
フリースペースの設置	<input type="radio"/>	ソファ、テーブル
資機材等の貸出	<input type="radio"/>	コピー機、印刷機、録音機、専用ロッカー 無料
福祉体験器具等の貸出	<input type="radio"/>	高齢者疑似体験セット 無料
登録グループの専用ポストの設置	—	
情報掲示板・チラシ提供スペースの設置	<input type="radio"/>	

〔ボランティアセンター運営委員会〕

組織の有無	無	規約	無
名称	—		
委員構成	—		
事業への関わり	—		
工夫点	—		
課題点	—		

〔ボランティア連絡協議会〕

組織の有無	有	規約	有
名称	安曇野市ボランティア連絡協議会三郷支部		
協議会構成	昭和63年11月、「ボランティアグループや個人ボランティア相互の交流」、「共に生きる福祉の地域づくり」を目的に設立。 ボランティアグループ17団体、個人ボランティア14名		
協議会構成	特技を生かしたボランティア3グループ、交流ボランティア8グループ、芸能ボランティア5グループ、環境系ボランティア3グループ、情報保障ボランティア4グループ、サロンボランティア2グループ、地区ボランティア11グループ 計36グループ、総勢701名		
工夫点	・ボランティア同士の交流が図れるよう、年に一度交流会を実施し、多くの方が集まる機会としている。 ・それぞれの活動状況の把握のため所属グループの活動内容の一覧を各グループに配布している。 ・それぞれのニーズに応じて研修や講演会を実施し、意識を高めている。		
課題点	ボランティア連絡協議会の存在意味を、万人が納得できるような説明ができないこと。		

〔財源〕

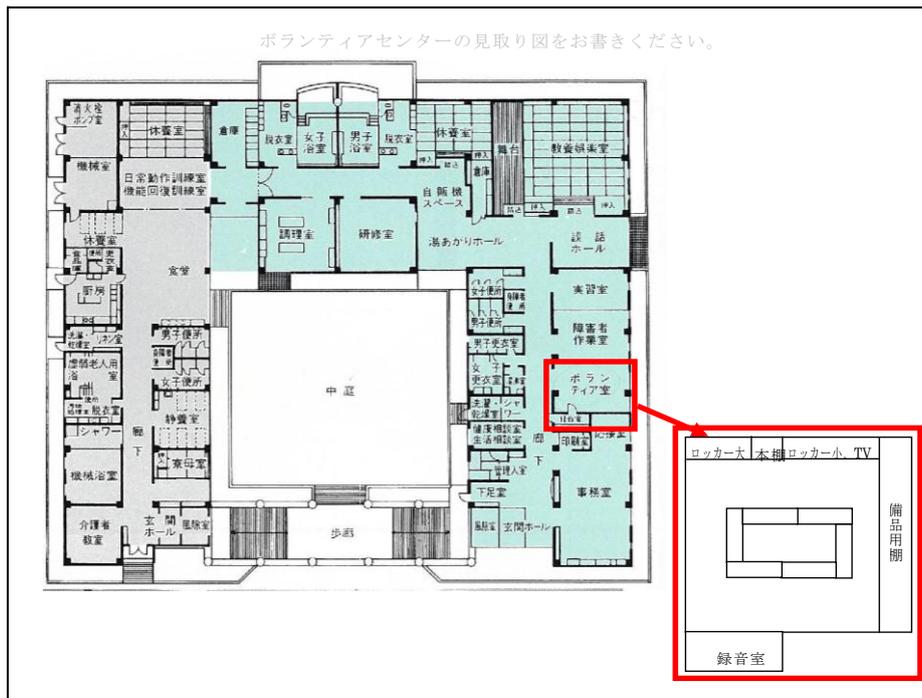
人件費	独自財源	—	
	共同募金	—	
	委託料・補助金	○	安曇野市補助金
	民間助成金	—	
	その他	—	

事業費	独自財源	○	社協会費
	共同募金	—	
	委託料・補助金	—	
	民間助成金	—	
	その他	—	

〔事業計画・センター運営等について〕

○事業計画について 毎年度の事業計画について、どのように計画を立案していますか？	担当部署・担当職員間で事業計画を立案している。
○センターにおける中長期計画について 独自の中長期計画・アクションプラン等を作成していますか？	—
○アドバイザー等について センターの運営や事業実施に関して、アドバイザー等の助言者はいますか？	—
○社協VC以外の中間支援機関について 社協が運営するVCとは別に、他団体が運営する中間支援機関が地域内にありますか？	—
○連携するNPOや関係機関について VCの事業・運営において連携・協働しているNPOや関係機関等がありますか？	
連携・協働先	連携・協働内容
NPO法人子育て支援ぱおぱお	情報の共有、ボランティア派遣
NPO法人あんずの木	余暇支援ボランティアの派遣 ボランティア視察受け入れ
NPO法人アルウィズ	講師依頼 ボランティア視察受け入れ
○センターの強みと弱みについて	
<p>《強み》</p> <p>福祉センター内に設置されているため、住民のニーズが把握しやすい。 情報発信、情報提供のツールがある。（広報誌、社協ホームページ等による） ボランティアニーズに応じて、養成講座やスキルアップ講座を開催できる。 現行ボランティアとの情報共有や相談からニーズ把握ができる。 福祉団体や企業、NPO等とのネットワークを形成できる。</p>	<p>《弱み》</p> <p>地域の拠点としての福祉センター内にあるボランティアセンターであるが、地域のニーズのみならず市全体にかかわるニーズに対しては、支所単位では解決できない部分も多く、さまざまな連携をとる必要がある。</p>

○VC見取り図



○他市町村社協ボランティアセンターについて センター運営や事業実施に関して、他市町村社協VCに聞いてみたいことや知りたいことなど

ボランティアセンターの重点事業について

事業名	ボランティア講座「サンタ☆あづみん」
目的	子どもを対象とするボランティア活動の導入 ボランティア初心者への活動への参加促進 企業ボランティアの地域活動への参入 学生
開催頻度	年一度
内容	<p><事前活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアについての話 ・子どもについての話（松本短期大学学生を講師として計画） ・サンタ訪問の事前説明 <p><当日></p> <ul style="list-style-type: none"> ・サンタに扮して訪問、プレゼント渡しと歌、踊りの提供 ・ボランティア同士の交流
対象者	子どもが好きでボランティア活動したい方、夜間の活動ができる方、地域の企業ボランティア 等
企画のポイント 事業成果	「クリスマスの夜のサンタクロース」という、役割が明確なものに対しての活動であったため、ボランティア初心者も参加しやすい点。 子どもの直接の反応を見ながら関わることができる点。 幼児保育学科の学生と一緒に企画、実行できる点。
参加者の声や その後の動き など	毎年日時が決まっている活動のため、年に一度の活動として定着しつつある。 訪問希望者の「喜ぶ顔」が見られ、達成感のある活動。 サンタクロースに扮し“非日常”的な場の提供に、照れがありながらも楽しさを感じられ、仲間意識が深まった。

事業の様子



ボラ知講座
ボランティア語彙は、
Vole(ヴォレ)が
自らわかるようにする!



地域ボランティア活動の一環として「サンタ☆あづみん」に参加させていただきました。小雪が舞う絶好のクリスマスイブ日和の中、サンタクロースに扮した松本短大生のご指導の下、慣れないダンスを踊りつつ各家庭を回りました。最初は照れくささで一杯でしたが、子ども達の喜ぶ笑顔を見ながらどんどん嬉しくなり、むしろ私たちがプレゼントをいただいたような暖かく楽しい一夜を過ごせました。皆さんもぜひ一度ボランティア活動に参加ください。

今月の
スポットライト
ボランティアさん紹介
八十二銀行 三郷支店長
宮坂 誠さん

